

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

四旬節第3主日 3rd Sunday of Lent

わたしの父の家を商売の家としてはならない (ヨハネ 2・16)

“Stop turning my Father’s house into a market”(Jn.2; 16)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15
 1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo
 Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449
<http://kasaicc.net/>



主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)
 日曜日 Sun. 10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



今日の行事予定：信者総会

献堂 50 周年記念事業第 7 期(7 月～12 月)献金報告

2018 年第 8 期報告 (2018 年 2 月末現在)
 申込者数：40 名 (目標：200 名)
 献金合計：1,715,000 円(目標：3,000,000 円) 1 期からの合計は 20,881,872 円です。今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお問い合わせください。

50 周年ロザリオの祈りの報告(2017 年分)

2 月は 5 名 102 環です。累計 15 名 225 環です。2018 年も 3,000 環が目標です。よろしくお願い致します。
 (50 周年委員会)

聖書朗読会

聖書朗読会は原則毎月第 4 日曜日のミサ後 11:30 より小聖堂で行っています。次回は 3 月 18 日(日)11 時 30 分からです。たくさんの方の参加をお待ちしています。
 (宣教部:シスター植木)

Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals 20,881,872 yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

ウルスラ修道会でのミサ

これからの予定は 3 月 15 日(木)です。おいしいランチと祈りのひと時をご一緒に！ 皆様ご参加下さい。

カフェより

2/18(日)韓国グループの「おしるこ」の売り上げ 12,000 円は全額 50 周年記念事業に献金してくださいました。ありがとうございました。

教会学校黙想会

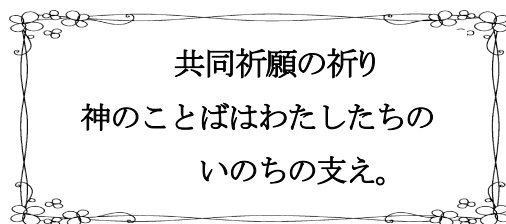
3/21 (水・祝) に教会学校の黙想会を行います。ゆるしの秘跡を受けてご復活までの準備をしましょう。みなさんぜひご参加ください。

十字架の道行き

3 月 9 日(金)、3 月 16 日(金)、3 月 23 日(金)の午前 10 時からです。

これからの主な予定

3 月 07 日(水)	Tagalog Mass
3 月 10 日(土)	大掃除 Housecleaning
3 月 11 日(日)	教会委員会
3 月 21 日(水)	教会学校黙想会 9:00～
3 月 29 日(木)	聖木曜日 19:00 ミサ
3 月 30 日(金)	聖金曜日 19:00 典礼
3 月 31 日(土)	復活徹夜祭 19:00 ミサ
4 月 01 日(日)	復活の主日 10:00 16:00 ミサ



今週の掃除は3月10日(土)
国際グループです。皆さまご参加ください。
This Week's Church Cleaning Duty March 10th Saturday
International Group

掃除当番の方々へ：トマスホールの椅子は、体の不自由な方が通れるように聖堂との境からタイル2枚分(約60cm)あけて並べて下さい。

献堂 50 周年記念事業準備

葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心一つにして準備作業を行っていきたいと考えています。ご協力をお願い致します。

『 四 旬 節 第 3 主 日 』 B 年

今日の福音 ヨハネによる福音 (2 : 13 - 25)

ユダヤ人の過越祭が近づいたので、イエスはエルサレムへ上って行かれた。そして、神殿の境内で牛や羊や鳩を売っている者たちと、座って両替をしている者たちを御覧になった。イエスは縄で鞭を作り、羊や牛をすべて境内から追い出し、両替人の金をまき散らし、その台を倒し、鳩を売る者たちに言われた。「このような物はここから運び出せ。わたしの父の家を商売の家としてはならない。」弟子たちは、「あなたの家を思う熱意がわたしを食い尽くす」と書いてあるのを思い出した。ユダヤ人たちはイエスに、「あなたは、こんなことをするからには、どんなしるしをわたしたちに見せるつもりか」と言った。イエスは答えて言われた。「この神殿を壊してみよ。三日で建て直してみせる。」それでユダヤ人たちは、「この神殿は建てるのに四十六年もかかったのに、あなたは三日で建て直すのか」と言った。イエスの言われる神殿とは、御自分の体のことだったのである。イエスが死者の中から復活されたとき、弟子たちは、イエスがこう言われたのを思い出し、聖書とイエスの語られた言葉とを信じた。

イエスは過越祭の間エルサレムにおられたが、そのなさったしるしを見て、多くの人がイエスの名を信じた。しかし、イエス御自身は彼らを信用されなかった。それは、すべての人のことを知っておられ、人間についてだれからも証ししてもらう必要がなかったからである。イエスは、何が人間の心の中にあるかをよく知っておられたのである。

聖書新共同訳より引用

A Reading from the Holy Gospel according to John (2 : 13-25)
Toward a new Temple

Just before the Jewish Passover Jesus went up to Jerusalem, and in the Temple he found people selling cattle and sheep and pigeons, and the money changers sitting at their counters there. Making a whip out of some cord, he drove them all out of the Temple, cattle and sheep as well, scattered the money changers' coins, knocked their tables over and said to the pigeon-sellers, "Take all this out of here and stop turning my Father's house into a market." Then his disciples remembered the words scripture: Zeal for your house will devour me. The Jews intervened and said. "What sign can you show us to justify what you have done?" Jesus answered, "Destroy this sanctuary, and in three days I will raise it up." The Jews replied, "It has taken forty-six years to build this sanctuary: are you going to raise it up in three days?"

But he was speaking of the sanctuary that was his body, and when Jesus rose from the dead, his disciples remembered that he had said this, and they believed the scripture and the word he had said.

During his stay in Jerusalem for the Passover many believed in his name when they saw the signs that he gave, but Jesus knew them all and did not trust himself to them; he never needed evidence about any man; he could tell what a man had in him.

This is the Gospel of the Lord

【 東日本大震災 被災者のための祈り 】

東日本大震災発生から七年を迎えて祈ります。

亡くなった人、今なお苦しんでいる人、特に原発事故の不安の中にいる人々に慰め主である聖霊を送ってください。苦しみから立ち上がるための力が与えられますように。

主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

国の指導者を聖霊の光で照らし、導いてください。被災地のために何が必要かを見極め、一日も早い復興の為に力を注ぐことが出来ますように。

主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

被災地で暮らすキリスト者が、キリストのいのちの言葉を信頼し、困難な状況の中にあっても、多くの人々の希望の光となることができますように。

主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。